

(様式1)

# 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月25日		記入者		内線	5216
部 名	生涯学習部	課 名	生涯学習課		課長名	佐藤 清
事務事業名	生涯学習ルームの維持管理					
予算上の事務事業名	生涯学習ルーム運営費					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15120			
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					事業開始年度
施 策 名	第2施策 生涯学習活動の支援					昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市立小学校及び中学校の「生涯学習ルーム」の運営に関する要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼					
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)</p> <p>小中学校の余裕教室及び特別教室を、公民館の補完的機能を持った「生涯学習ルーム」として、市民の利用に供する。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>市民</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>生涯学習ルームの維持管理(9校17教室)</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況	公民館の補完施設という位置付けで、余裕教室等の開放を行っている自治体は少ないと思われる。					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	6,239	6,135	6,799	17,959	7,238	
一般財源	6,239	6,135	6,799	17,959	7,238	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	1,020	978	984	984	984	
事業コスト合計(a)	7,259	7,113	7,783	18,943	8,222	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	施設管理委託			対象名称(単位)	市民	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	5,639	5,758	6,180	6,600	6,900	
対象数	611,000	616,000	621,000	625,000	670,000	
単位あたり経費(円)	9	9	10	11	10	
前年度比		1.01	1.06	1.06	0.98	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	実施校数		指標式と指標の説明	生涯学習ルームを実施している小中学校数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	9.0	9.0	9.0			
目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
目標達成度	0.90	0.90	0.90			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	延べ利用団体数		指標式と指標の説明	より多くの市民に余裕教室が認知され、活用されているかを図る。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1836.0	1659.0	2000.0			
目標	2400.0	2400.0	2400.0	2400.0	2400.0	
目標達成度	76.5	69.1	83.3			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		公民館の補完施設として、市民利用に供しているが、平日の夜間と学校休業日のみの施設開放となっているため、公民館で一番利用率が高い平日昼間を利用するという市民ニーズには、応えられていない。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
より高い市民ニーズに対応していくため、平日の昼間についても、主体的に学校が施設開放を行うよう働きかける必要がある。			平日昼間の施設開放については、最大の課題点は、生徒がいるところに、不特定多数の一般市民が入ることによる、安全性をいかに確保することができるか、ということである。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		児童生徒の安全確保との関係を整理する。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				